令和５年２月６日

令和５年度松阪市松阪市民病院事業会計当初予算

番号	21
事業名	松阪市民病院在り方検証等事業
予算額（主な支出）	委員会運営補助及び経営強化プラン策定業務委託 17,094 千円 委員報酬 350 千円 委員費用弁償 109 千円
特定財源	なし
事業の概要	令和２年２月 13 日に提出された『地域医療構想をふまえた松阪市民病院の在り方に関する提言書』について、検証委員会を設けて再検証する。 加えて、国県から要請されている「公立病院の地域医療構想に係る具体的対応方針」＝「公立病院経営強化プラン」を策定する。
事業の背景など	今般の新型コロナウイルス感染症対応において、急性期機能・医師・看護師等の集約化、各病院の機能分化・連携等を通じた役割分担の明確化・最適化の取組みを平時からより一層進めておく必要性が浮き彫りとなった。国においては、今後も人口減少や少子高齢化が続く中、各地域において将来の医療需要を見据えつつ、新興感染症等や大規模災害などの緊急事態が発生した際にも機動的・弾力的に対応できるよう、質が高く効率的で持続可能な医療提供体制を整備するため、地域医療構想や地域包括ケアシステム、医師の働き方改革や偏在対策といった各種施策を一体的に推進している。その中で、地域として必要な医療提供体制の確保を図ることを目的として、公立病院が担うべき役割・機能を明確化・最適化するため、令和４年３月 24 日厚生労働省医政局長通知、及び、令和４年３月 29 日総務省自治財政局長通知に基づき、「公立病院の地域医療構想に係る具体的対応方針」＝「公立病院経営強化プラン」を策定することが要請されている。 また、令和２年２月 13 日に前述の提言書が出されたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、提言に基づく進捗がないまま約 3 年が経過しており、令和４年 10 月 20 日に開催された令和４年度第１回松阪地域医療構想調整会議において、公立病院経営強化プランの策定にあたっては、提言の趣旨を踏まえて検討を進めるよう要請があった。
目的・効果など	地域として持続可能な医療提供体制を確保する。
事業スケジュール	R5.5 頃　委託業者・委員選定 松阪市民病院在り方検証委員会開催 R6.2 頃　経営強化プラン策定
添付資料	なし
備考	なし
担当課	松阪市民病院事務部　経営管理課　　電話 23-1515